

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2012年03月05日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000093"/> 整理番号 <input type="text" value="11504"/> 担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>
表 題	<input type="text" value="道路橋床版コンクリートの早期疲労劣化探知方法"/>
技術分野	<input type="text" value="土木・建築"/>
適用製品	<input type="text" value="橋梁等の自動車荷重といった繰返し荷重を受ける床版コンクリート"/>
目 的	<input type="text" value="橋梁を構成するコンクリート床版は、車両の大型化、交通量の増大に起因した疲労による劣化が顕在化しつつある。そのため、コンクリート床版の疲労損傷の程度を早期に探知できる技術の確立が急がれている現状にある。しかし、現在の探知手法は、目視点検や打音検査といった定性的な方法が一般的であり、疲労劣化がある程度進行した段階でなければ劣化を探知することができない。本発明は、このような問題点を解決したものである。"/>
技術概要	<input type="text" value="本技術は、コンクリート床版より採取したコンクリートコアを簡便かつ定量的な手法を用いて解析することにより、劣化の早期段階からその兆候と進行を探知することができるコンクリートの疲労劣化探知技術である。"/> <input type="text" value="具体的には、疲労劣化の探知における着眼点としてマイクロクラック等の早期段階での劣化と結びつきが強いと見られるセメント硬化体の細孔径分布に着目したことであり、コンクリートコアから容易に測定試料が得られ、また、従来の水銀圧入測定装置を用いて簡便に測定が行なえる点にある。そして、細孔径分布の測定で判明する毛細管空隙の容積やインクボトル空隙の容積等がコンクリート床版の疲労劣化の進行具合により変化することを見出した。"/> <input type="text" value="これにより、床版コンクリート自体の疲労による劣化の程度を数値で表し、その経時的な変化の把握を可能にした。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いづれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな)	<input type="text"/>		
氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp